



「私には分かりません」
(水谷元会長)

小沢強制起訴

「裏ガネ授受」疑惑のキーマン

水谷建設元会長 本紙に激白

小沢疑惑の力キを握る「キーマン」が本紙に「衝撃」告白だ。その人物とは、7日に初公判が開かれる「陸山会」をめぐる政治資金規正法違反事件で、衆院議員・石川知裕被告(37)や大久保隆規被告(49)らに「裏ガネ1億円を渡したと証言した」と報じられた水谷建設(三重県)元会長の水谷功氏(65)である。

きのう(31日)、「強制起訴」された小沢元代表の事件でも、核心は「水谷証言」にたどり着く。水谷会長の口から出た言葉は驚きの内容だった。「水谷建設側が04年10月

「(1億円裏ガネ証言は)ワケ分かりません」

と05年春の2回にわたって、小沢秘書に5000万円ずつ、計1億円を渡した。岩手の胆沢ダム関連工事を受注した謝礼だった。

09年11月から、大新聞テレビで一斉報道が始まった「水谷建設裏ガネ疑惑」。大マスコミは「檢察リーク」に乗っかり、以来、この力ネが「陸山会」が購入した世田谷の土地資金の原資になった」と決め付け、「小沢悪者キャンペーン」を展開してきた。檢察の「ネタ元」とされたのが、水谷元会長だった。

「脱税で三重刑務所に服役していた水谷元会長に、東京地検特捜部の検事が会いに行ったのは、09年夏ごろ。当時、西松建設をめぐるタミール団体献金事件で、小沢氏の第1秘書の大久保被告を逮捕・起訴したが、檢察側

「石川(議員)の『イ』の字も知りません」

大久保秘書のことを知らないとは驚きだ

のシナリオ通りに裁判が進まず、困り果て、すがったのが水谷元会長だったといわれています(司法ジャーナリスト)。

「水谷証言」が本当なら、小沢は即、逮捕・起訴されていただろう。ところが、檢察は1年以上、捜査したものの証拠も見つけられず、結局は不起訴。「水谷証言」はいつの間にか雲散霧消し、大新聞テレビも報道自体を忘れてしまったかのようだ。しかし、あれだけ国民、世論を誘導した重大証言をこのまま闇に葬り去るのは許



「大久保(秘書)なんて会ったこともない」

されない。

現在、刑を終えて出所した水谷元会長を直撃した。

記者「裏ガネ疑惑、証言内容は本当だったのか」

水谷氏「分かんないよ。知らないよ」

記者「04年と05年の2回、石川、大久保両被告に水谷建設が力ネを渡したと報じられています」

水谷氏「石川、大久保なんて会ったこともない。石川被告の顔は報道でクローズアップされて知っているが、それまで石川のイの字も知らなかった」

記者「大新聞テレビでは、これまで、水谷氏が検事に『力ネを渡したことを証言』などと報じられてきた。これは誤報といたことですか」

水谷氏「何がどうなのか。ワケが分かんない。

記者「新聞テレビの記者は、証言の裏付け取材に来なかったのですか」

水谷氏「何人かは来たけど……。『こんな話、聞いたことがありますか』って言うから、『聞いたことぐらいはあるな』とは答えたが……」

記者「証言の否定会見はしないのですか」

水谷氏「どうでもエエ。私には分かんない。あなた方は私のことを勝手に書いて……」

いやいや、仰天発言で水谷建設が力ネを渡したと報じられていないか。報道の中には、大久保被告と懇意だった大阪の建設会社社長が水谷会長を紹介したなんてものもあったが、水谷氏の話通なら、これらは全部デタラメだったということか。檢察が書いたシナリオに水谷氏はうなずいただけなのか。

檢察はなぜか水谷氏を証人申請していない。主役を抜きにして、「裏ガネ疑惑」をどう立証するつもりなのか。もういい加減にした方がいい。